



ゼミで身につけた 世界で活躍するために必要なバランス感と客観性

三菱商事株式会社 化学品グループ管理部 機能化学品チーム

松井 幸代さん MATSUI YUKIYO

子供の頃から国際社会に強い興味があり、政治という切り口で世界を見渡せる政治学科へ。村田晃嗣先生のもと、仲間と討論を繰り返す濃密な時間を過ごしました。在学時は、アメリカで同時多発テロが起こるなど、世界情勢が目まぐるしく動いた頃でした。今世界で何が起こり、そこにはどのような要因が隠れているのか。当事国間の関係だけにとらわれずに大きな視野で国際社会のパワーバランスや利害関係を読み解くこと、また考え方が偏らないようさまざまな思想や立場に立って分析することを心がけ、客観的な判断手法を学び、世界を見る目を養うことができた4年間でした。

国際的な仕事がしたいという学生時代の希望から、現在は商社で財務経理の仕事をしています。海外事業

投資先に対する経理サポートなども行いますが、会計の専門的なやり取りや、現地に赴いてサポートする際には、語学力不足を痛感することもしばしば。同志社には語学力を伸ばせるカリキュラムが充実しており、世界を舞台に仕事をしたい方に有意義だと思います。また、留学して“世界”を実感してみることもお勧めします。私も、常に自分の能力を高める努力をし続けたいと考えています。

2004年 法学部政治学科 卒業

政治学科のカリキュラムに国際関係関連科目が充実していたため入学を決意。「国際政治を深く学べるとともに、鴨川にも近く自然と共生しているのびのびした環境が良かった」と語る。三菱商事では現在、予決算業務および営業活動における会計や税務の諸問題をフォローする業務に従事。村田先生や当時のゼミ仲間とは、今でも交流を続けている。